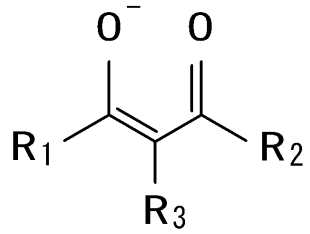
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年5月22日(2024.5.22)

【国際公開番号】WO2023/032900
【出願番号】特願2023-545549(P2023-545549)
【国際特許分類】
C08L101/02(2006.01)
C08K 5/07(2006.01)
C08L 23/26(2006.01)
H01B 7/02(2006.01)
H01B 7/08(2006.01)
H01B 7/00(2006.01)
【FI】
C08L101/02
C08K 5/07
C08L 23/26
H01B 7/02 F
H01B 7/08
H01B 7/00 301

【手続補正書】
【提出日】令和6年2月26日(2024.2.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
熱によって金属イオンが遊離するＡ成分と、
側鎖を有し、ショアＤ硬度が５０以上の有機高分子で構成されるＢ成分と、を含み、
前記Ｂ成分は、前記側鎖に、前記Ａ成分から遊離する金属イオンとイオン結合を形成可能な電子求引性の置換基を含んでおり、
前記Ａ成分から遊離した金属イオンによって前記Ｂ成分を架橋した架橋体が、１９０℃以上３００℃以下の範囲に流動開始温度を有する、架橋性高分子組成物。
【請求項２】
前記Ｂ成分の主鎖は、ポリプロピレンである、請求項１に記載の架橋性高分子組成物。
【請求項３】
前記Ｂ成分は、５０℃以上１９０℃以下の範囲に流動開始温度を有する、請求項１に記載の架橋性高分子組成物。
【請求項４】
前記Ａ成分は、５０℃以上３００℃以下に分解点または相転移点を有する、請求項１に記載の架橋性高分子組成物。
【請求項５】
前記Ａ成分は、前記Ｂ成分の流動開始温度以上の温度に、分解点または相転移点を有する、請求項１に記載の架橋性高分子組成物。
【請求項６】
前記Ａ成分は、下記の式（１）の構造を有する配位子を含んだ金属錯体である、請求項１に記載の架橋性高分子組成物。

【化１】



…(1)

ここで、Ｒ１およびＲ２はそれぞれ独立して炭素数１以上８以下の炭化水素基を示し、Ｒ３は水素原子または炭素数１以上８以下の炭化水素基を示す。Ｒ１、Ｒ２、Ｒ３のうち少なくとも２つが、環構造によって相互に連結されている場合も含む。

【請求項７】

前記Ａ成分から遊離する金属イオンは、アルカリ土類金属、アルミニウム、亜鉛、チタン、ジルコニウムのうちの少なくとも１種のイオンである、請求項１に記載の架橋性高分子組成物。

【請求項８】

前記Ａ成分から遊離する金属イオンは、アルミニウムおよびジルコニウムの少なくとも１種のイオンである、請求項７に記載の架橋性高分子組成物。

【請求項９】

前記Ｂ成分の前記置換基は、カルボン酸基、酸無水物基、リン酸基のうちの少なくとも１種である、請求項１に記載の架橋性高分子組成物。

【請求項１０】

前記Ｂ成分の置換基は、炭素数１以上のアルキル基またはアルキレン基を介して、主鎖に結合されている、請求項１に記載の架橋性高分子組成物。

【請求項１１】

前記Ｂ成分は、主鎖中に電子求引性基を含まない、請求項１に記載の架橋性高分子組成物。

【請求項１２】

前記Ａ成分とＢ成分の合計を１００質量部として、前記Ａ成分を０．１質量部以上３０質量部以下含有する、請求項１に記載の架橋性高分子組成物。

【請求項１３】

前記Ａ成分から遊離した金属イオンによって前記Ｂ成分を架橋した架橋体として構成された、請求項１から請求項１２のいずれか１項に記載の架橋性高分子組成物の架橋体を含む、架橋高分子材料。

【請求項１４】

電線導体と、

請求項１３に記載の架橋高分子材料より構成され、前記電線導体の外周を被覆する絶縁被覆と、を有する絶縁電線。

【請求項１５】

前記電線導体は、複数の素線が撚り合わせられており、

前記絶縁電線は、軸線方向に直交する前記電線導体の断面が扁平形状となった扁平部を有する、請求項１４に記載の絶縁電線。

【請求項１６】

請求項１４に記載の絶縁電線を含む、ワイヤーハーネス。